

県内経済の動き

概況

〔2020年9月～2020年11月の動き〕

一部に持ち直しの動きもあるも、新型コロナや鳥インフルエンザの影響が懸念される

鉱工業生産指数（9月）は12カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（10月 細島港）は8カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（10月 全店ベース）は8カ月ぶりに前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（11月）は2カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（10月）は2カ月ぶりに前年同月比減少し、公共工事（11月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（10月）は前月比0.04ポイント上昇の1.15倍で、11月の企業倒産は前月比1件増の3件、負債額は同8億34百万円増の8億96百万円となった。

個人消費に改善の兆しがみられるものの、新型コロナの感染再拡大や鳥インフルエンザの発生により、県内経済の先行きには不透明感が漂っている。